

# イエス様は、君が病気の時も

## 理解してくださる

かわいそうにね、  
イエス。あなたのために  
祈ってるわ。

病気の時にはどんな  
気分になるか、イエス様には  
分かるかなあって考えたことは  
あるかい？

聖書には、こう書かれてるんだ。

「わたしたちの大祭司は、わたしたちの弱さに  
同情できない方ではありません。罪は犯され  
ませんでした。すべての点で、わたしたちと  
同じように、試みに会われたのです。」

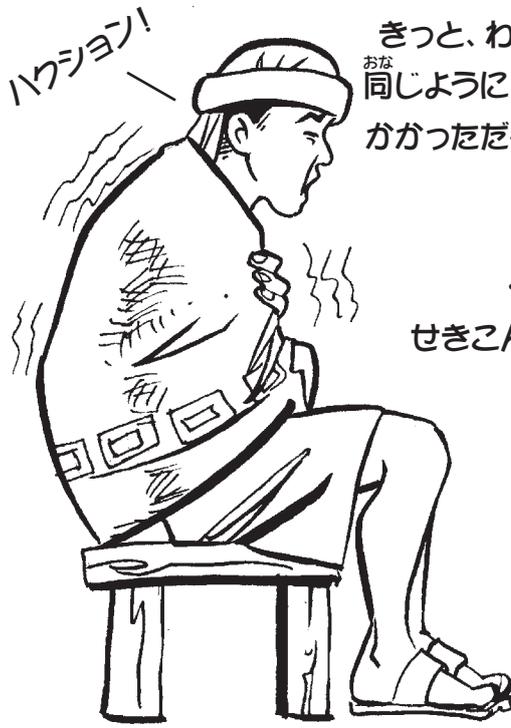
「ですから、わたしたちは、あわれみを受け、また  
恵みをいただいて、おりにかなった助けを受ける  
ために、大たんに恵みのみ座に近づこうでは  
ありませんが。」(新改訳聖書、へブル人への手紙 4:15-16)



せいしょ 聖書には、イエス様は さま 地上に おられた とき、わたしたちと おなじように ゆうわくに あ 会われたと 書かれています。だから、わたしたちの ひつよう 必要な ものや、きも りがい 気持ちを 理解できるって わ 分かるんだ。



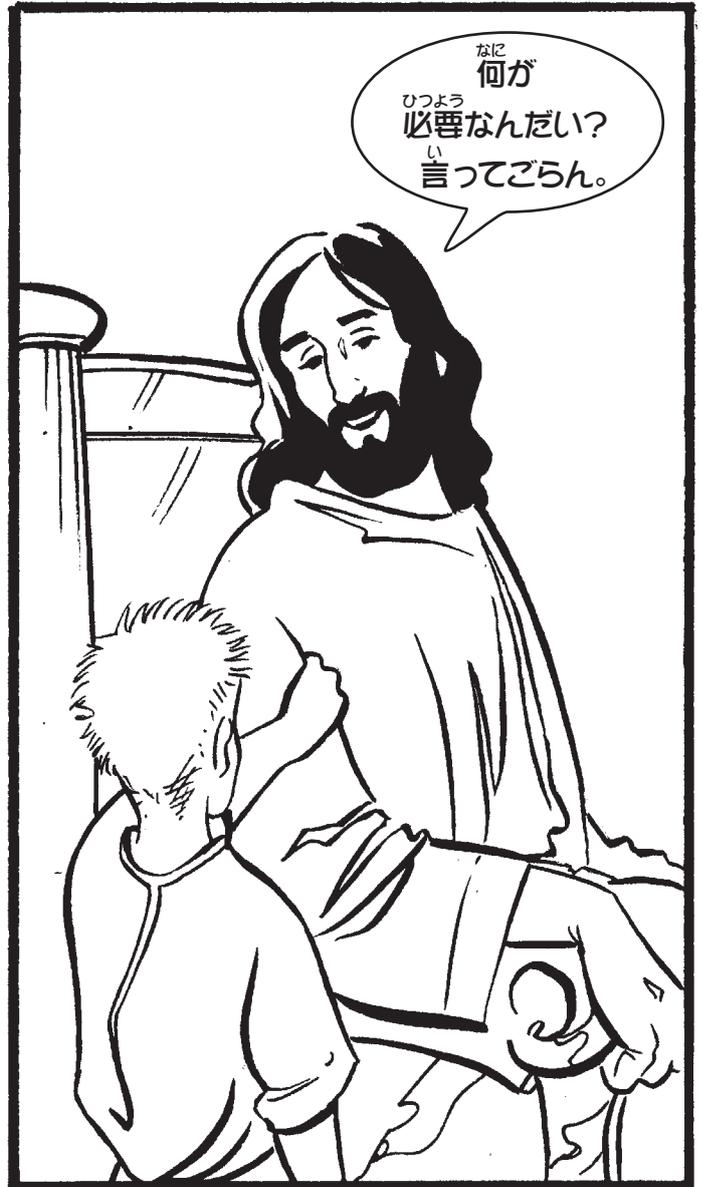
イエス様は さま 地上での じんせい 人生を、わたしたちと おなじように あか あか 赤んぼうの とき はし 始められ たんだよ。だから こども 子供時代は、ふつうの しょうねん 少年たちと おなじく、きず や あさを つく 作っていたらうね。 あう!



ハクション!

きっと、わたしたちと おなじように、びょうき 病気にも がかったたらうし...

...かぜで せきこんだり...

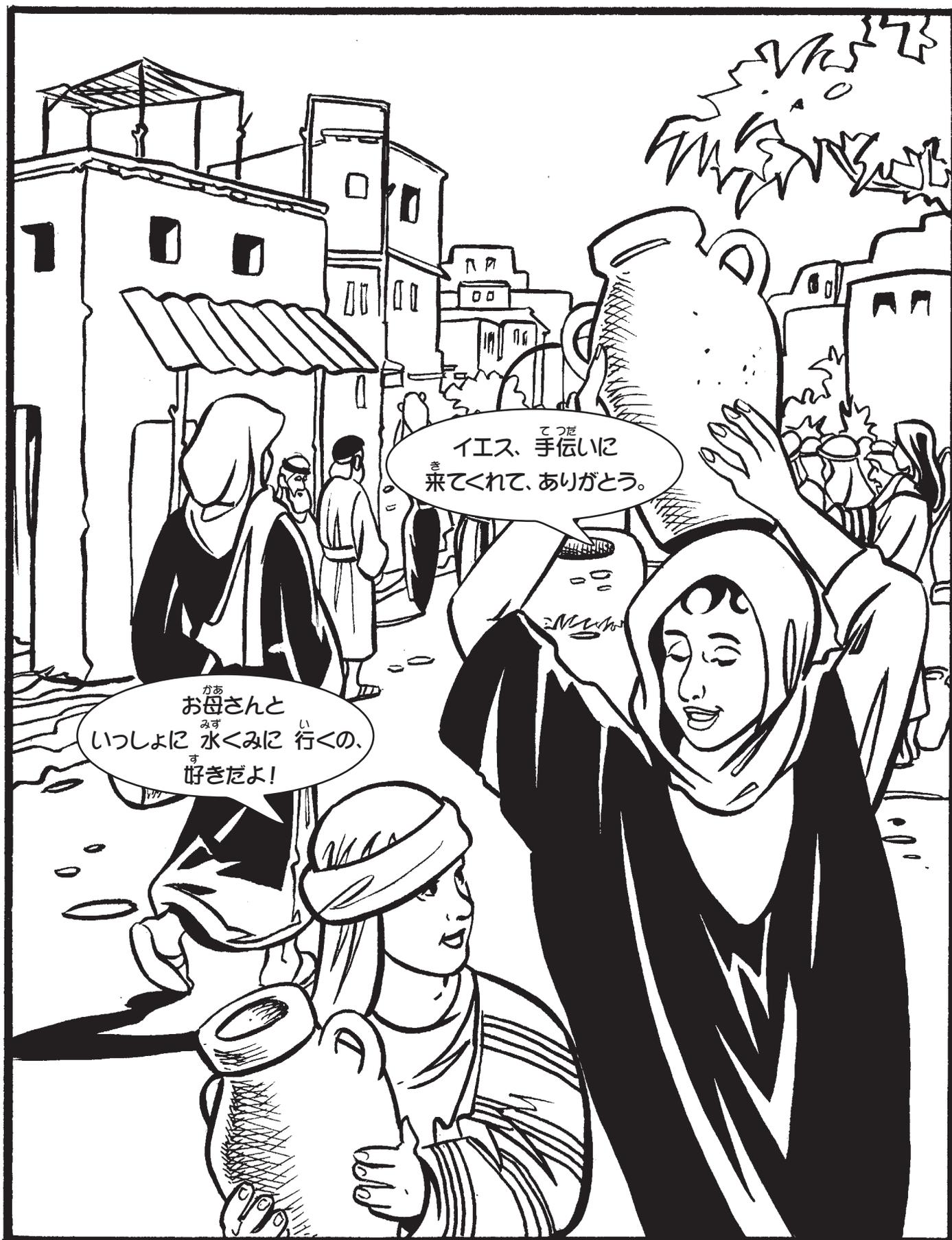


なに 何が ひつよう 必要なんだい? い 言ってごらん。



...おながを こわしたことも あるたらうね。

いま きみ くら  
今の 君たちに 比べると、イエス様には もっと 大変な ことだって あったよ。例えば、  
イエス様が 生きておられた 時代は、水道も なかったしね。水は、井戸から こんで  
運んでこなくちゃ いけなかったんだ。



イエス様の時代には、君たちが使っているバンドエイドみたいな  
簡単なばんそうこうだって、なかった。

さあてと、何が  
あるかな…



ぬり薬をつけたから、  
あとは、できるだけよごさないように  
するのよ。

だから、ケガをしたら、  
ばいきんが入らないように、  
いろいろと手間が  
かかったんだ。

イスラエルという  
くに くにちゅう  
国は、日中は とても  
あつ 暑くて かんそうして  
いるけど...

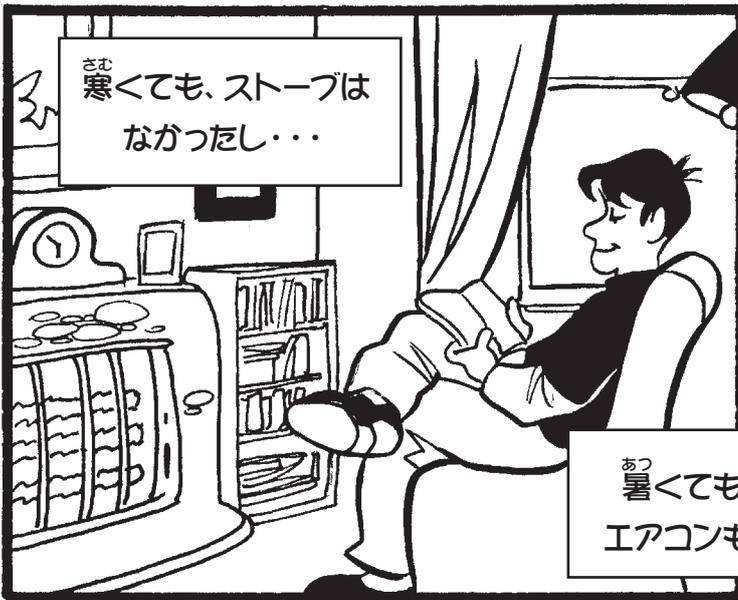


よる さい  
...夜は 寒い...

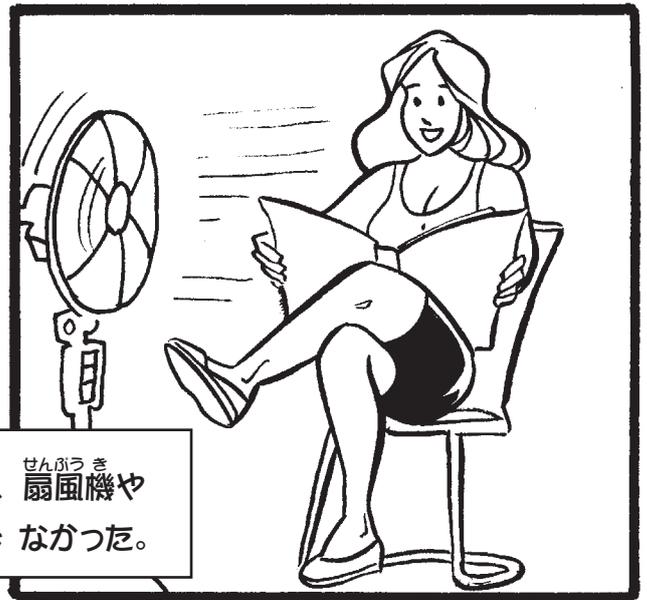


とく とう  
...特に、冬は  
すこく さい  
すこく 寒かったんだ。

さい  
寒くても、ストーブは  
なかったし...



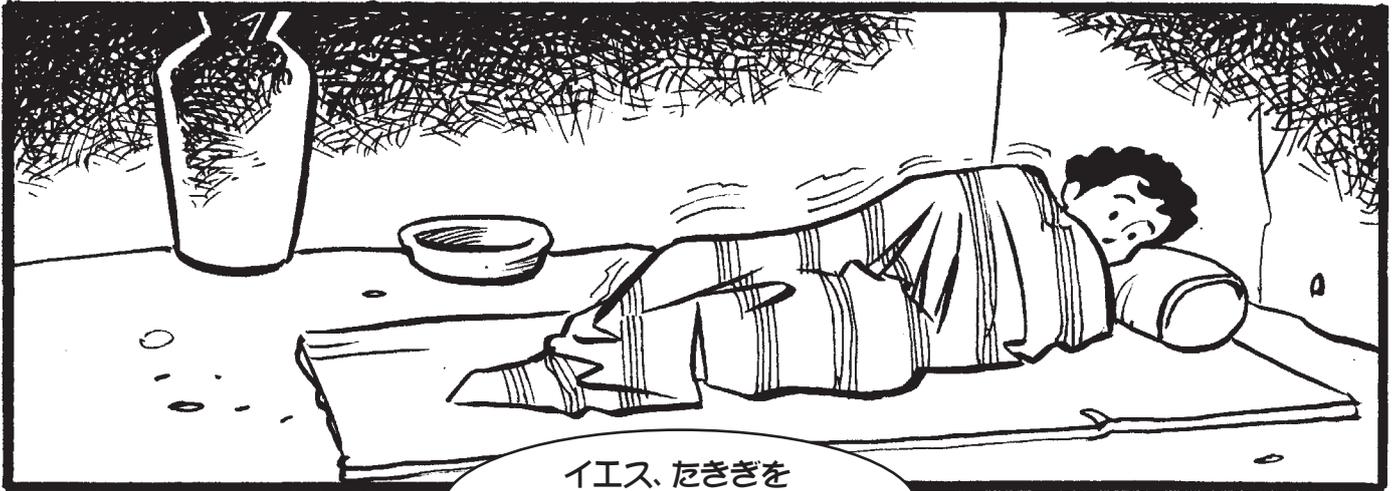
あつ 暑くても、せんがうき  
エアコンも なかった。



ひとひと す  
人々が 住んでいた 質素な  
いえ ひるま  
家は、昼間は できるだけ  
すずしく 暮らせるように  
つく 造られていた。



だから、夜は <sup>よる</sup>暖まらなくて <sup>あたた</sup>寒 <sup>さむ</sup>かったんだ。



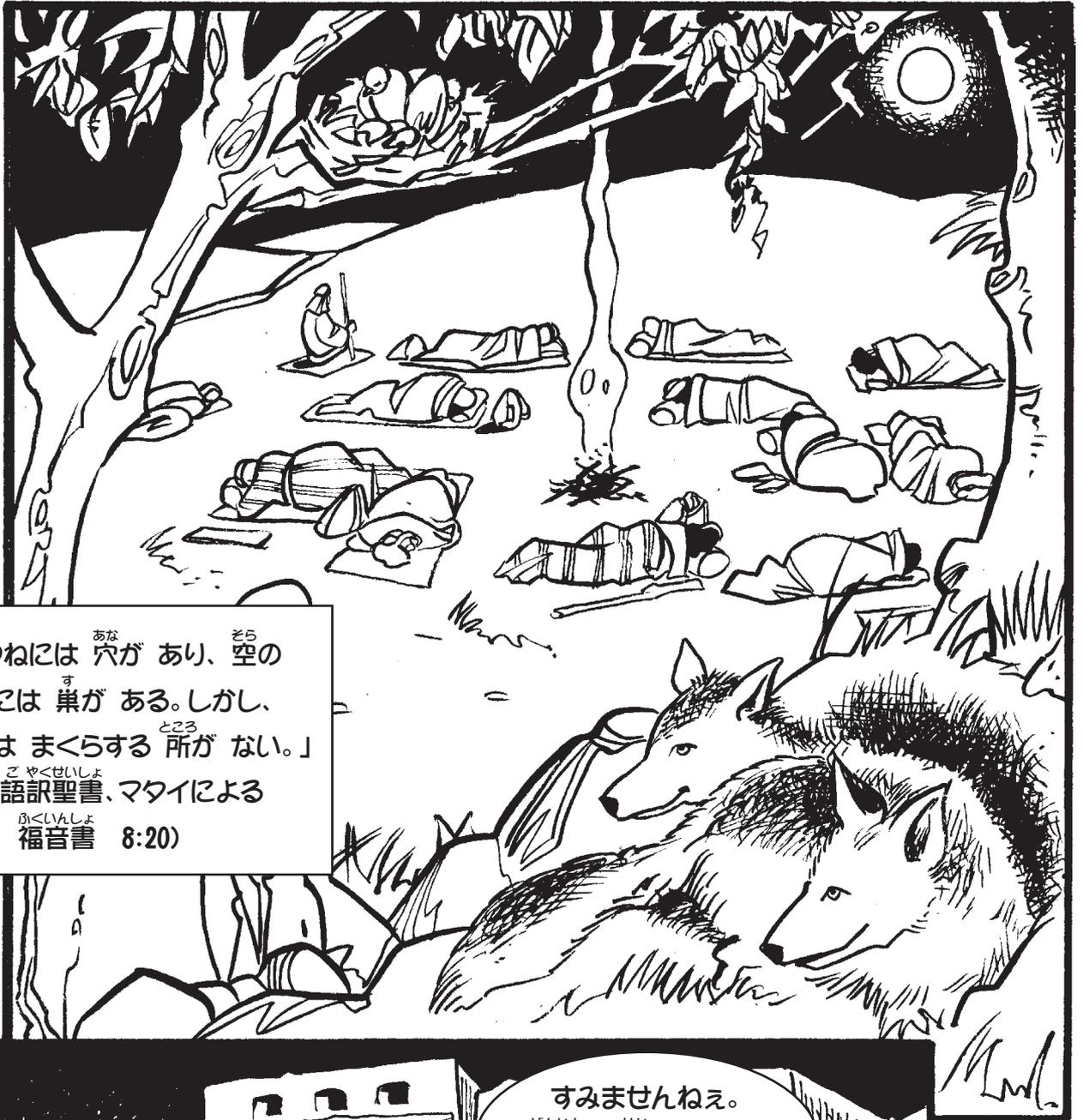
イエス、たきぎを  
き切るのを <sup>てつた</sup>手伝いたいかい？



はい、<sup>とう</sup>お父さん！

りょうり 料理をするには、<sup>いえ</sup>家の <sup>そと</sup>外で <sup>ひ</sup>火を <sup>た</sup>たくか、あるいは <sup>おお</sup>大きい <sup>いえ</sup>家だと、  
<sup>ひろ</sup>広い <sup>なかにわ</sup>中庭の <sup>まなか</sup>真ん中に <sup>ひ</sup>火を <sup>た</sup>たく <sup>ばしょ</sup>場所が あった。

イエス様が 弟子たちと 一緒に 証しながら 旅していた 時は、野宿したり、  
納屋なんかにとまることも 多かった。



「きつねには <sup>あな</sup>穴があり、<sup>そら</sup>空の  
<sup>とり</sup>鳥には <sup>す</sup>巣がある。しかし、  
<sup>ひと</sup>人の子には <sup>ま</sup>まくらする <sup>ところ</sup>所がない。」  
(口語訳聖書、マタイによる  
福音書 8:20)

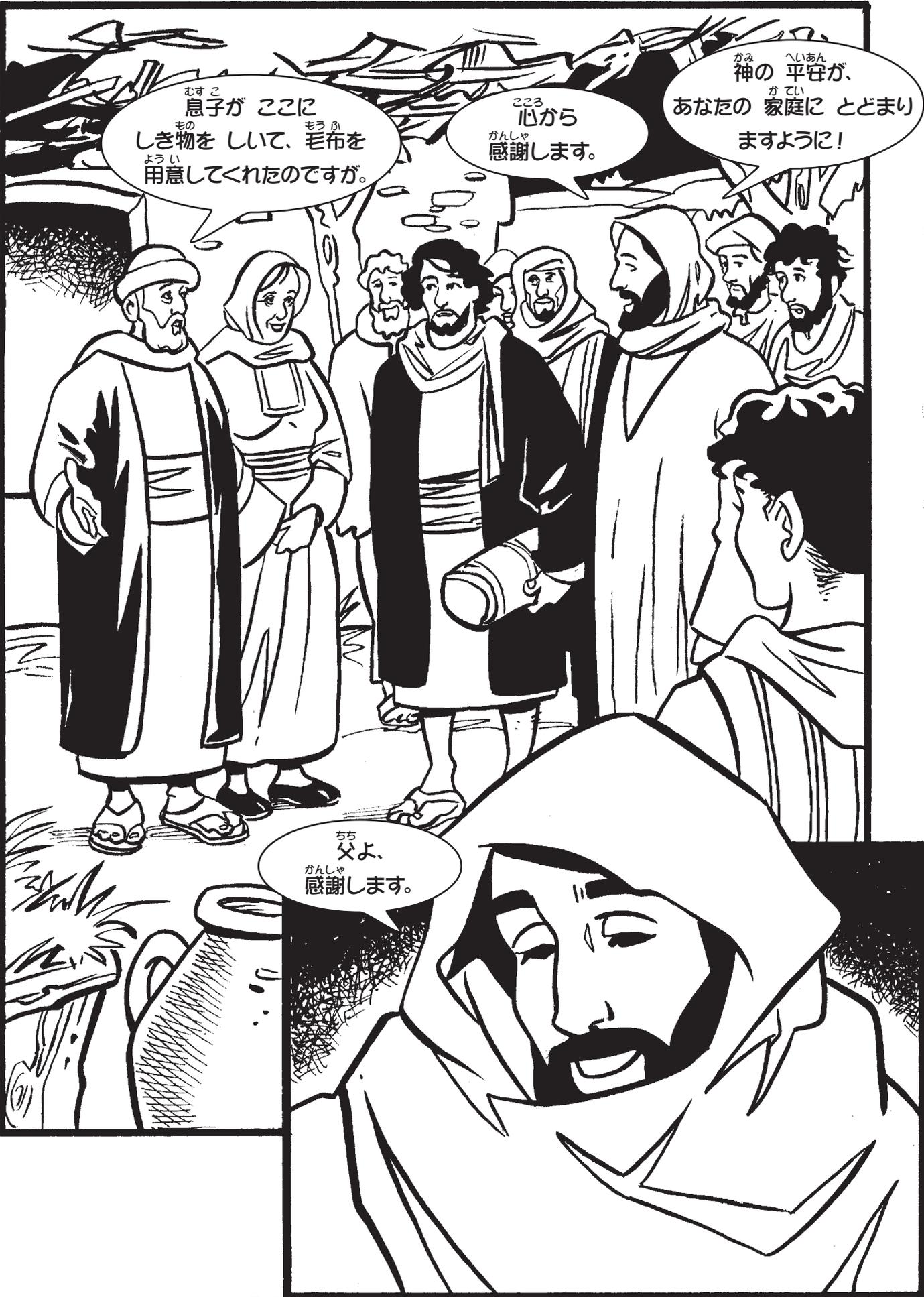


かみ へいあんが、  
あなたの 家庭に とどまり  
ますように!

こころ  
心から  
かんしゃ  
感謝します。

むすこ  
息子が ここに  
もの  
しき物をして、毛布を  
ようい  
用意してくれたのですが。

ちち  
父よ、  
かんしゃ  
感謝します。



いえいえ 家々には、食べ物を冷やしておく冷蔵庫というものはなかった。ということは、暑い時でもくさらないような調理法にするが、または料理した直後に食べなくてはいけなかったということだ。



君たちがいつも健康でいるのはそうたやすくはないのと同じく、  
イエス様も、いつも健康でいられるというわけじゃなかったんだ。

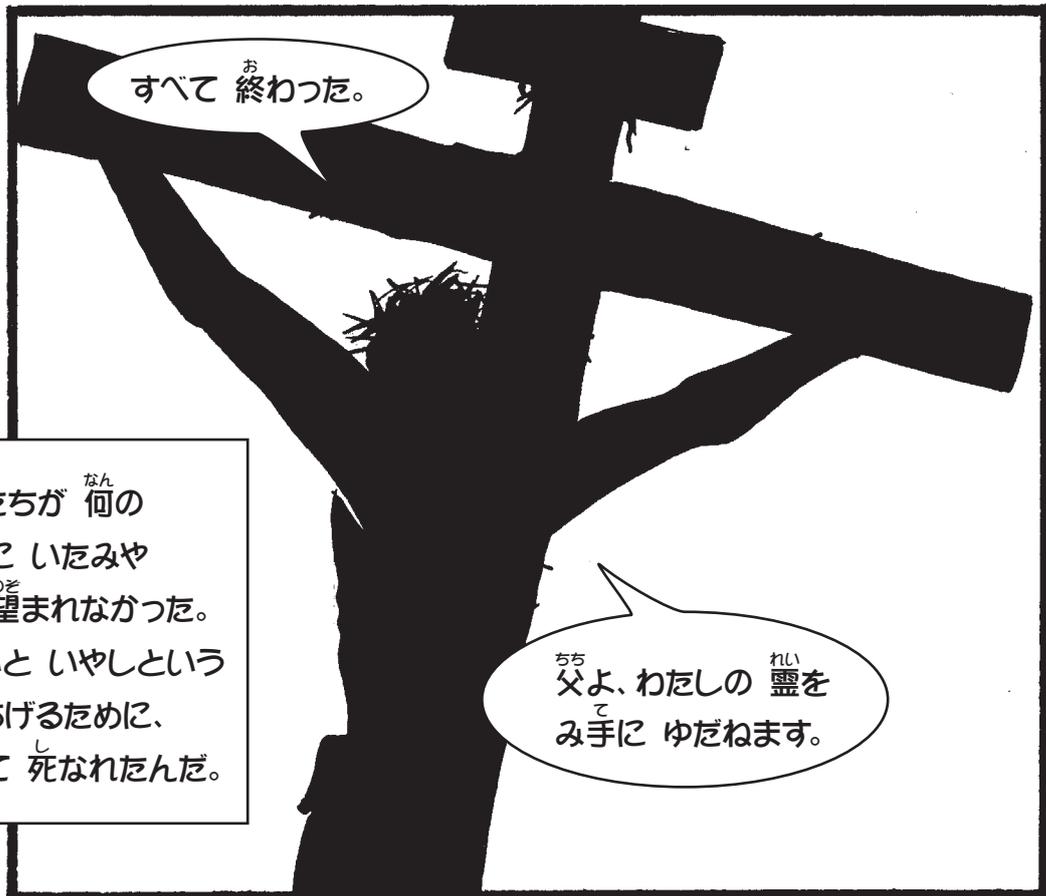


わたしは、<sup>きみ</sup>君が <sup>けんこう</sup>健康な  
<sup>とき</sup>時も、<sup>びょうき</sup>病気の <sup>とき</sup>時も、いっしょに  
いるよ。

イエス様、すぐ  
そばに いてくださって、  
ありがとう!



<sup>ちち</sup>父よ、<sup>びょうき</sup>病気の <sup>とき</sup>時も  
<sup>せわ</sup>世話してくださって、  
<sup>かんしゃ</sup>感謝します。



すべて <sup>お</sup>終わった。

<sup>ちち</sup>父よ、わたしの <sup>れい</sup>霊を  
<sup>て</sup>み手に ゆだねます。

イエス様は、<sup>きみ</sup>君たちが <sup>なん</sup>何の  
なぐさめも <sup>なし</sup>なしに <sup>いたみ</sup>いたみや  
<sup>びょうき</sup>病気に <sup>くる</sup>苦しむことを <sup>のぞ</sup>望まれなかった。  
だから、<sup>きみ</sup>君たちに <sup>すく</sup>救いと <sup>いやし</sup>いやしという  
<sup>ふた</sup>二つの <sup>おく</sup>贈り物を <sup>もの</sup>あげるために、  
<sup>じぶん</sup>ご自分の <sup>からだ</sup>体を <sup>ささ</sup>ささげて <sup>し</sup>死なれたんだ。



ひょうき  
病気に かかたり ケガを  
した<sup>とき</sup>時は、わたしが いやしてあげるからね。  
それが どんな 気分が、分かるよ。

こんど せいさんしき  
今度 聖餐式を  
する 時は、  
イエス様が 地上で  
どんな 暮らしを  
していたが、  
おもい出してごらん。



しゅ  
「主は あなたの すべての 不義 (罪深い  
おこな  
行い) を ゆるし、あなたの すべての 病を  
こころ やくせいしょ しへん  
いやす。」(口語訳聖書、詩篇 103:3)